

夫婦で帰郷し、英語と脳活で秋田の子供達やシニアを元気にする！

A to Z Lab(エートゥーズィーラボ) (秋田県)

夫婦の数少ない共通点であった故郷の秋田で、妻の語学指導経験と英語教育の専門家としての資格を生かした英語教室の開業準備を進めている事業者である。夫は大手企業のエンジニア、妻は大学を卒業後に海外での日本語語学指導員や小学校・高校の英語教師を務めていた。

1. 相談のきっかけ

・本事業者は、「秋田の教育産業に貢献し、地元経済を盛り上げていけるような人材」を、夫婦二人三脚で育成したいとの強い思いがあった。

・しかし、秋田生まれであるというアドバンテージはあるものの、これまで会社等勤めしかしたことがなく、創業は未知の世界であったため大きな不安を抱えていた。

・そうした中、夫婦で冬休みの帰郷を利用し、創業するための相談先を探していたところ、よろず支援拠点の存在を知り、来訪相談に至った。

2. 課題整理・分析

【強み】夫婦とも秋田の大学を卒業し、両親・親戚・友人・知人など豊富な人脈がある。

【課題】

①創業場所の確定

既に検索していた候補地も含め、ターゲット顧客を想定した市場調査や競合先分析を踏まえて、創業場所を選定することが必要。

②創業に係る事業計画の策定
損益計画や資金計画を含んだ事業計画書の策定が必要。

③創業後の人脈形成

経営のパートナーとして、支援機関などとのネットワーク形成が必要。

④金融機関との関係性構築
資金調達を含め、地元金融機関との関係づくりが必要。

3. 解決策の提案

①場所の確定に向けて、具体的な市場分析手法を助言し、市内2ヶ所で分析を実施することを提案。また、秋田市の地域別人口実態調査データ及び総務省の学習塾への支出等家計調査結果データを手交しながら市場等分析を支援。

②事業計画書策定支援を行うとともに、資金調達面で創業補助金制度の活用を提案。

③人脈形成促進のため秋田商工会議所への加入を含め担当者を紹介

④創業希望地域に存在する地元金融機関の担当者を紹介

4. 成果

・会社勤めの傍ら、ひとつひとつの疑問や課題に対し、メールでお互いにやり取りを重ねた結果、本事業者の創業に対する漠然とした不安を着実に払しょく。

・さらに、事業計画策定支援の結果、創業補助金に採択され、開業に向けた資金調達を実現。

・策定された事業計画と補助金採択の情報を基に、地元金融機関の理解も得られ、融資交渉を開始した。

・秋田商工会議所との繋がりが作られ人脈が広がり、よろず支援拠点や商工会議所という公的機関の経営相談を受ける中で、紹介等を通じて支援機関との人脈を広げた結果、今後講師候補の選定や広報・PRで重要な協力者となる地元大学ともネットワーク構築が可能となった。

↓

・相談者の強い思いである、地元経済を支える人材教育への貢献という目標に向けた第一歩が踏み出せた。本格的な創業は10月に予定され、開業計画も具体的に進捗。

・それに先立つプレオープン特別企画としてサマースクールの企画も実現化。

相談者の創業への思いが実際に事業展開に結びつくことで、地元へ帰郷して創業した好事例が誕生することとなり、今後県外からの移住創業の可能性を大きく拓くことが期待される。